

2022（令和4）年度  
法務研究科 法務専攻（法科大学院）B日程 入学試験問題  
「小論文」  
（60分）

注意：解答はすべて解答用紙に記入すること。

【問題】 次の文章を読んで後の設問に答えなさい。（配点100点）

2年ほど前から、黒くて四角い大型のリュックを背負い、自転車を走らせている人を数多く見かけるようになった。アメリカの会社が運営する料理宅配サービスで、運営会社に登録しているレストランの料理を専用アプリや公式ウェブサイトを通じて注文し、配達員として登録している一般人が自分の自転車やバイクなどで配達する。昨年以来のコロナ禍での外出自粛の影響もあって、利用者が激増しているという。

このサービスにはメリットが多い。レストランの側からすると、自前で配達員を確保することなく、料理宅配サービスを展開することができる。注文する側も、数多くのレストランから、自分の食べたいものを選ぶことができる。登録している配達員の数が多いので、長い時間待たされることもない。配達員も登録しておけば、自分の時間の空いているときに、お金を稼ぐことができる。

その一方で、このシステムにさまざまな問題があることが明らかになってきた。まず、配達員の運転マナーの悪さがあげられる。配達員が当て逃げをしたり、自転車で高速道路を走るという事件も起きている。配達員に追突され、怪我を負った60代女性が、配達員と運営会社を提訴した際に、運営会社はコメントすら出さなかった。

配達員は、運営会社の社員ではなく、登録をしている個人事業主の扱いになっている。そのため、配達員が仕事に事故に遭った場合に、労災保険\*の対象にならない。報酬や評価について不透明な点があるといった問題もあって、配達員が組合を結成し、事故やケガの補償、運営の透明性、適切な報酬を要求して、団体交渉を求め、労働委員会への救済の申し立てもしている。

これは配達員だけの問題ではない。ネットのプラットフォームを介して仕事をするクラウドワーク（プラットフォームワーク）は、データ入力や短い文章の作成などの簡単な仕事だけではなく、翻訳、デザイン、データ分析、プログラミング開発といった専門的仕事にも広がっている。これらの仕事を受注する人の中には、最低賃金に満たない金額で仕事を引き受けざるを得なかったり、他の仕事と掛け持ちして長時間労働を強いられている者も少なくない。労働問題の専門家は、こういった人が「働く貧困」層に陥る可能性が高いとの警告を発している。

これを読んでいる皆さん、人ごとだと思いませんか。「法務」もプラットフォームワークの対象になっているのですよ。

\* 労災保険＝労働者の業務上の災害や通勤災害に対する補償のために、使用者に加入させて保険料を徴収し、労働者に直接保険給付を行う社会保険

設問 プラットフォームワークをめぐる問題点を整理し、それに関するあなたの見解を述べると共に、その解決策について、検討しなさい。